

第2回 一橋大学本番レベル模試（地理） 採点基準

共通採点基準

〔記述・論述問題共通〕

- 誤字や脱字, 「てにをは」の誤り, 主語述語関係などの日本語の乱れは1か所につき, **1点減点**
 - *同一の小問内で, 同じ誤りを繰り返している場合は, 個々ではなく, まとめて減点を行う
- 指定行数・字数を超えて記述した解答は, **1点減点**
 - *最後のマスに文字と句点を両方記入したのも含む
 - *字数制限のある問題の解答欄に問題番号を自分で記入する場合, 問題番号も字数に含む
- 国名を一意性のない略称で記述した解答は, **1点減点**
 - *同一の小問内で, 複数の略称を用いた場合も, まとめて一度のみ減点を行う
 - *重複のない政体抜きでの国名や「中国」「韓国」「イギリス」などの通称は, 減点しない
 - *「米国」「英国」「ソ連」「UAE」「露国」「独国」「仏国」「豪州」などは, 一意性があるため, 減点しない
 - *「アメリカ」は地域・大陸名と重複, 「コンゴ」「ドミニカ」は国名が重複するため, 減点する
 - *ただし, 「アメリカ」は, 国名として記述されていることが明確に読み取れる場合に限り, 減点しない
 - *「日」「中」「韓」「米」「露」「英」「独」「仏」「豪」などは, 一意性がないため, 減点する
 - *ただし, 「日中関係」「日米間」などの熟語的使用は, 一意性があるため, 減点しない
 - *上記にかかわらず, 問題用紙に記載されている表記については, 減点しない

*以上の減点は, 他の加点・減点・得点の上限の適用などを全て施した最終的な得点に対して行う

*各小問の得点が0点になった場合, それ以上の減点を行わない

採点基準の見方

〔加点項目（算用数字：1, 2, 3…）について〕

- 「X (a点)」の項目は、解答全体がどのような文章構成であるかに関わらず、解答に要素 X が含まれているかどうかを判断し、含まれていれば加点する

〔採点基準の見方：注記（アスタリスク：*）について〕

- 注記は主に青字で示した解答以外で解答として認められる地理的類義語や国語的類義表現を示している
- 各注記「*」は、他の「*」を除く直上の記述に係っている
- 2つの加点項目が列挙される場合において、「*1」は1つ目（1行目）の加点内容に対する注記、「*2」は2つ目（2行目）の加点内容に対する注記、「*12」は両方に共通する注記であることを示している。同様に、加点項目が3つ以上列挙される場合は、「*1」は1つ目、「*3」は3つ目、「*23」は2つ目と3つ目に共通する項目、などを示している。

〔論理関係・問題条件による減点項目（ローマ数字Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ…）について〕

- 「X1がX2のYである、という関係でなければ、a点減点」の項目は、要素 X1 と要素 X2 の両方で加点されている解答だけを判断の対象とする。つまり、要素 X1 または 要素 X2 が欠けている場合は、項目 Y についての減点は行わない（X1 や X2 が欠けていることによって失点しているため、さらに減点する必要はない）

I (50点)

採点基準

問1 19点

1. 価格の内訳の違い i (地代)
アメリカ合衆国は地代が高い (2点)
* 「ブラジルは地代が安い」でも可
* 「ブラジル」は「ソリゾ」「マットグロッソ州」でも可 (以下の加点要素でも同様)
* 「地代」は「地価」「賃借料」「土地代」でも可
* 「アメリカ合衆国」は「ダベンポート」「アイオワ州」でも可 (以下の加点要素でも同様)
2. 価格の内訳の違い ii (輸出港までの輸送コスト)
ブラジルは輸出港までの輸送コストが高い (2点)
* 「アメリカ合衆国は輸送コストが低い」でも可
* 「輸送コスト」は「輸送費」でも可
* 「輸出港までの」など、輸送コストが高くなる区間を明示していない場合は1点
3. 価格の内訳の違い iii (地代以外の生産費用)
ブラジルは(地代以外の)生産費用が高い (2点)
* 「アメリカ合衆国は(地代以外の)生産費用が低い」でも可
4. 価格の内訳の違い iv (生産者収益)
アメリカ合衆国は生産者収益が小さい (1点)
* 「ブラジルは生産者収益が大きい」でも可
5. 地代の違いをもたらす理由
アメリカ合衆国は経済水準が高い (2点)
* 「経済水準が高い」は「物価が高い」「先進国である」でも可
* 「ブラジルは経済水準が低い」でも可
* 「経済水準が低い」は「物価が安い」「(発展)途上国である」でも可
6. 輸出港までの輸送費用の違いをもたらす理由 i (ソリゾ)
ソリゾ(周辺)ではトラックによる運搬が用いられる (2点)
* 「ソリゾ」は「マットグロッソ州」でも可 (以下の加点要素でも同様)
* 「水運が使えない」「道路を使い運搬する」「開発が遅れている」でも可
7. 輸出港までの輸送費用の違いをもたらす理由 ii (ダベンポート)
ダベンポートでは水運が用いられる (2点)
* 「ダベンポート」は「アイオワ州」でも可
* 「水運」は「バージ」「舢舨」「河川舟運」「河川輸送」「ミシシッピ川を利用した運搬」でも可
8. 地代以外の生産費用の違いをもたらす理由 i (資源投下)
ソリゾは(化学)肥料を必要とする, または
ソリゾは害虫が発生しやすい, または
ダベンポートは効率的な生産が可能である (2点)
*1 「(化学)肥料」は「土壌改善」「石灰」でも可
*2 「害虫が発生しやすい」は「雑草が発生しやすい」「農薬を必要とする」でも可

- * 「農薬」は「防虫剤」「防除剤」でも可
 - *3 「ダavenportは生産性が高い」でも可
9. 地代以外の生産費用の違いをもたらす理由 ii (土壌・気候)
- ソリゾは土壌が貧しい, または
ソリゾは高温多湿な気候である (2点)
- *1 「貧しい」は「酸性である」「ラトソルである」「肥沃でない」「やせている」でも可
 - *2 「高温」「多湿」のいずれかがない場合は 1点
10. 生産者収益の違いをもたらす理由
- 生産者収益 (の差) は費用の差によるものである, または
生産者収益 (の差) は地代 (の差) によるものである, または
地代 (の差) に比べ, 地代を除く生産費用 (の差) は小さい (2点)
- *1 「費用」は「生産費用と輸送費用」でも可
 - *12 「によるものである」は「を反映している」などの表現でも可
 - *3 「地代を除く生産費用 (の差) に比べ, 地代 (の差) は大きい」でも可
- I. 5が1の理由である, という関係でなければ, 2点減点
- II. 6が2の理由である, という関係でなければ, 2点減点
- III. 7が2の理由である, という関係でなければ, 2点減点
- IV. 8が3の理由である, という関係でなければ, 2点減点
- V. 9が3の理由である, または
9が8の理由である, という関係でなければ, 1点減点

問2 18点

[植物工場の特徴]

1. 植物工場の特徴 i (管理する条件)
- (植物工場は) 多くの条件を (人工的に) 管理できる (2点)
- * 「多くの条件」は「多くの要素」などの表現でも可
 - * 「管理できる」は「操作できる」「調整できる」などの表現でも可
2. 植物工場の特徴 ii (技術水準)
- (植物工場は) 高度な技術を用いている (2点)
- * 「先進技術を用いている」「技術水準が高い」でも可
 - * 「高度な技術」は「センサー」「人工知能」「ロボット」「環境制御システム」など, 具体的に述べても可
3. 植物工場の特徴 iii (生産の効率化)
- (植物工場は) (より) 効率的な生産ができる (2点)
- * 「(土地) 生産性が高まる」でも可
4. 植物工場の特徴 iv (安定的な生産)
- (植物工場は) 生産量を (より) 安定させることができる (2点)
- * 「生産量」は「品質」でも可
 - * 「品質」は「味」「栄養分」でも可
 - * 「安定させる」は「調整する」でも可
5. 植物工場の特徴 v (出荷時期)

(植物工場は) 出荷時期を (自由に) 調整できる (2点)

* 「出荷時期」は「収穫時期」でも可

6. 植物工場の特徴vi (資本)

(植物工場は) (より) 多くの資本を必要とする (2点)

* 「資本」は「資金」「設備」「投資」でも可

[食品とは関係のない企業が参入している理由]

7. 食品とは関係のない企業が参入している理由 i (土地活用)

遊休化した土地を有効に活用する (3点)

* 「遊休化した」は「使われていない」「活用されていない」でも可

* 「土地」は「資産」「資本」「資源」「工場」でも可

* 「遊休化した土地」は「高架下」「空き地」など、具体的に述べても可

* 「有効に」は「効率的に」でも可

* これがない場合は 2点

8. 食品とは関係のない企業が参入している理由 ii (技術活用)

企業の有する技術を活用する (3点)

* 「他の工場の廃熱を利用する」でも可

* 「他の工場」は「発電所」「クリーンセンター」でも可

* これがない場合は 2点

* 「企業の有する」は「本業で使われている」などの表現でも可

* これがない場合は 2点

* 「技術」は「研究」「研究成果」でも可

* 「クリーンルーム」「空調設備」「照明」など、具体的に述べても可

9. 食品とは関係のない企業が参入している理由 iii (経営多角化)

地域経済に貢献する, または

経営を多角化する (2点)

*1 「(地域の) 雇用を創出する」でも可

*2 「経営」は「事業」でも可

*2 「多角化」は「分散」でも可

[植物工場が解決する問題]

10. 植物工場が解決する問題 i (労働力不足)

(解決できる問題は) 農業従事者の減少による労働者不足である (3点)

* 「農業従事者の減少」は「高齢化」でも可

* これがない場合は 2点

11. 植物工場が解決する問題 ii (食料自給率)

(解決できる問題は) (国内の) 食料自給率の減少である (2点)

* 「食料自給率の減少」は「食糧安全保障の問題」でも可

12. 植物工場が解決する問題 iii (食料自給率)

(解決できる問題は) (天候不順などによって) 食料供給が不安定となることである (2点)

* 「食料価格が安定しないことである」でも可

13. 植物工場が解決する問題 iv (食糧不足)

(解決できる問題は) (世界の) 人口増加に伴う食糧不足である (2点)

14. 植物工場が解決する問題 v (環境破壊)
(解決できる問題は) 農地開発に伴う環境破壊である (3点)
* 「農地開発」は「過剰な開墾」でも可
* これがない場合は 2点
* 「環境破壊」は「地球温暖化」「土壌流出」でも許容
15. 10~14の要素と類似せず、植物工場が解決する問題として適当なもの (各 2点, 最大 6点)
- I. 1~6の加点の合計が6点を超える場合は 6点
II. 7~9の加点の合計が6点を超える場合は 6点
III. 10~15の加点の合計が6点を超える場合は 6点
IV. 7が(異業種企業が参入している)理由である, という関係でなければ, 2点減点
V. 8が(異業種企業が参入している)理由である, という関係でなければ, 2点減点
VI. 9が(異業種企業が参入している)理由である, という関係でなければ, 2点減点

問3 13点

[トレーサビリティの重要性が高まっている理由]

1. トレーサビリティの重要性が高まっている理由 i (消費者の観点)
(消費者の) 食の安全性への関心が高まった (3点)
* 「関心」は「意識」などの表現でも可
* 「安全性」は「信頼性」でも可
* 「高まった」は「強まった」「見直された」などの表現でも可 (以下の加点要素でも同様)
* 「食品偽装問題が発生した」「遺伝子組み換え食品が増えた」など, 具体的に述べても可
2. トレーサビリティの重要性が高まっている理由 ii (取引量の増加)
食品の取引が複雑になった, または
食品の貿易量が増えた (2点)
* 1 「取引」は「加工(工程)」でも可
* 2 「海外産の食品を消費する機会が増えた」などの表現でも可
* 「BSE問題が発生した」など, 具体的に述べても可
3. トレーサビリティの重要性が高まっている理由 iii (生産者への配慮)
(食料) 生産の持続可能性への関心が高まった (2点)
* 「生産の持続可能性」は「原産地の途上国支援」「フェアトレード」でも可
* 「生産農家の利益を守ることが注目された」など, 具体的に述べても可

[生産農家が受ける恩恵]

4. 生産農家が受ける恩恵 i (販売)
(不当に) 安い価格での売却を避けられる (2点)
* 「適正な価格で売却することができる」「買ったたきを防止できる」など, 具体的に述べても可
5. 生産農家が受ける恩恵 ii (生産)
質の高い食品を生産できる (2点)
* 「消費者が安心して食品を購入できるようになる」「食の安全性を(余計な費用なく)証明できる」でも可
* 「質の高い」は「味にこだわった」「生産法にこだわった」「ブランドのある」などの表現でも可
6. 生産農家が受ける恩恵 iii (費用)

契約に関するコストを削減できる (2点)

* 「改ざん対策を施す必要がなくなる」など、具体的に述べても可

7. 生産農家が受ける恩恵iv (融資)

(銀行) 融資を受けやすくなる (2点)

* 「銀行からの評価が高くなる」「銀行が契約の安全性を評価しやすくなる」など、具体的に述べても可

8. 4~7の要素と類似せず、生産農家が受ける恩恵として適当なもの (各2点, 最大6点)

I. 4~8の加点の合計が6点を超える場合は6点

II. 1が(トレーサビリティの重要性が高まっている)理由である, という関係でなければ, 2点減点

III. 2が(トレーサビリティの重要性が高まっている)理由である, または

2が1の理由である, という関係でなければ, 2点減点

IV. 3が(トレーサビリティの重要性が高まっている)理由である, という関係でなければ, 2点減点

II (50点)

採点基準

問1 各1点 計3点

問2 25点

1. 中国国内の EC ビジネスに関する事情 i (中国国内の市場)
中国の EC 市場は拡大が困難である (2点)
* 「拡大が困難である」は「(成長が) 頭打ちである」「伸びしろがない」でも可
2. 中国の EC 市場が拡大困難である理由
中国は EC 利用者比率が高い (2点)
3. 中国国内の EC ビジネスに関する事情 ii (中国国外の市場)
東南アジア (諸国) の EC 市場は参入余地が大きい (2点)
* 「参入余地が大きい」は「市場が手つかず」「パイが大きい」でも可
* 「経済成長率が高い」では不可
4. 東南アジアの EC 市場の参入余地が大きい理由 i (EC 利用者比率)
東南アジア (諸国) は EC 利用者比率が低い (2点)
5. 東南アジアの EC 市場の参入余地が大きい理由 ii (インターネット普及率)
東南アジア (諸国) はインターネット普及率が高い (2点)
6. 東南アジアの EC 市場の参入余地が大きい理由 iii (東南アジア市場)
東南アジア (諸国) は経済成長率が高い (2点)
* 「経済成長率」は「EC 市場成長率」でも可
7. 東南アジア諸国の抱える課題
東南アジア (諸国) は EC 発展の条件が整っていない (2点)
* 「東南アジア (諸国) は EC 発展に障壁がある」でも可
* 「条件」は「前提」などの表現でも可
8. EC 発展の条件が整っていない理由 i (クレジットカード保有率)
東南アジア (諸国) はクレジットカード保有率が低い (2点)
* 「東南アジア (諸国) は電子決済の普及が遅れている」でも可
9. EC 発展の条件が整っていない理由 ii (輸送サービス)
東南アジア (諸国) は輸送サービスの有効性と質が低い (2点)
* 「有効性と質」は「有効性」「質」「信頼性」でも可
10. 中国の EC 企業が解決できる課題 i (中国 EC 企業のノウハウ)
中国の EC 企業は東南アジア (諸国) が抱える課題を解決できる (3点)
* 「中国の EC 企業は、かつて (中国で) 東南アジア (諸国) が抱える課題を解決した」でも可
11. 中国の EC 企業が解決できる課題 ii (決済・流通サービス)
中国の EC 企業は決済・流通サービスを整備した (3点)
* 「中国の EC 企業は決済・流通サービスに関するノウハウを有している」などの表現でも可
* 「中国の EC 企業は決済サービスを整備した」など、決済・流通のいずれかがない場合は 2点
12. 中国の EC 企業が解決できる課題 iii (東南アジア諸国の思惑)

東南アジア（諸国）（の側）が課題解決を期待している（2点）

* 「東南アジア（諸国）は中国 EC 企業の進出に好意的である」でも可

13. 中国政府の思惑

（中国政府の）一帯一路構想に合致している（3点）

* 「ASEAN 中国自由貿易協定を進めている」「デジタル技術の活用促進を進めている」でも可

14. 中国 EC 企業が有する構想

eWTP の構想を広める（2点）

* 「eWTP」は「世界電子取引プラットフォーム」でも可

* 「アリババのプラットフォーム」でも可

* 「構想」は「考え」でも可

I. 加点の合計が 25 点を超える場合は 25 点

II. 2 が 1 の理由である、という関係でなければ、2 点減点

III. 4 が 3 の理由である、という関係でなければ、2 点減点

IV. 5 が 3 の理由である、という関係でなければ、2 点減点

V. 6 が 3 の理由である、という関係でなければ、2 点減点

VI. 8 が 7 の理由である、という関係でなければ、2 点減点

VII. 9 が 7 の理由である、という関係でなければ、2 点減点

問 3 16 点

[輸出加工区とデジタル自由貿易区が似ている点]

1. 輸出加工区とデジタル自由貿易区が似ている点 i（経済発展）

（国内の）経済発展が目的である（2点）

2. 輸出加工区とデジタル自由貿易区が似ている点 ii（雇用）

（国内の）雇用の創出が目的である（2点）

* 「創出」は「拡大」でも可

3. 輸出加工区とデジタル自由貿易区が似ている点 iii（輸出の促進）

輸出の促進が目的である（2点）

* 「輸出指向である」でも可

4. 輸出加工区とデジタル自由貿易区が似ている点 iv（立地場所）

港の周辺に形成される（2点）

* 3「輸出指向であること」でも可

[輸出加工区とデジタル自由貿易区が異なる点]

5. 輸出加工区に特有の内容 i（立地するもの）

（輸出加工区には）（加工）工場が立地する（2点）

* 「輸出加工区では工業製品の加工を行う」「輸出加工区では製品を生産する」でも可

6. デジタル自由貿易区に特有の内容 i（立地するもの）

（デジタル自由貿易区には）EC 関連サービスの拠点が立地する（2点）

* 「EC 関連サービス」は「EC ビジネスに必要なサービス」でも可（以下の加点要素でも同様）

7. 輸出加工区に特有の内容 ii（支援する対象）

（輸出加工区は）外国企業を対象とする（2点）

- * 「外国企業」は「外資企業」「外資」でも可
- 8. デジタル自由貿易区に特有の内容 ii (支援する対象)
(デジタル自由貿易区は) 国内の中小企業を対象とする (2点)
 - * 「国内」は「マレーシア」でも可
 - * 「中小企業」を「企業」とした場合は 2点
- 9. 輸出加工区に特有の内容 iii (政策の内容)
(輸出加工区は) 税制優遇を行う (2点)
 - * 「関税を免除する」でも可
- 10. デジタル自由貿易区に特有の内容 iii (政策の内容)
(デジタル自由貿易区は) EC 関連サービスを提供する (2点)
- 11. 輸出加工区に特有の内容 iv (政策の目的)
(輸出加工区は) 企業の誘致を行う (2点)
 - * 「関税を免除する」でも可
- 12. デジタル自由貿易区に特有の内容 iv (政策の目的)
(デジタル自由貿易区は) 企業の強化を行う (2点)
 - * 「企業の強化」は「企業の育成」「企業の発達」「企業の活躍促進」でも可
- 13. 輸出加工区に特有の内容 v (実在性)
(輸出加工区は) (全て) 実在している (2点)
- 14. デジタル自由貿易区に特有の内容 v (実在性)
(デジタル自由貿易区は) (一部が) バーチャルである (2点)
- I. 1~4 の加点の合計が 6 点を超える場合は 6 点
- II. 5, 7, 9, 11, 13 の加点の合計が 6 点を超える場合は 6 点
- III. 6, 8, 10, 12, 14 の加点の合計が 6 点を超える場合は 6 点
- IV. I ~ III を適用した後の加点の合計が 16 点を超える場合は 16 点

問 4 6 点

- 1. 該当国の特徴
(英語が公用語である) (2点)
 - * 「(国民の) 大半が英語話者である」でも可
- 2. 特徴を活かした機能 i (コールセンター)
(担う機能は) コールセンターである (2点)
 - * 「請け負う」は「担う」「果たす」でも可
- 3. コールセンターの特徴
(コールセンターは) 英語圏の顧客向けである (2点)
 - * 「英語圏」は「アメリカ合衆国」「イギリス」など、具体的に述べても可
- 4. 特徴を活かした機能 ii (システム開発)
(担う機能は) システム開発である (2点)
 - * 「システム開発」は「ソフトウェア開発」でも可
 - * 「システム開発」は「IT 業務」でも許容
- I. 2~4 の加点の合計が 4 点を超える場合は 4 点

Ⅲ (50点)

採点基準

問1 10点

1. アの資源の名称
(アの資源は) 石炭である (2点)
2. オーストラリアにおける主な産出地
(主な産出地は) 東部の山脈沿いである (2点)
* 「東部の山脈沿い」は「グレートディヴァイディング山脈」「モウラ炭田」など、具体的に述べても可
3. 自然環境の名称
(自然環境の名称は) グレートバリアリーフである (2点)
* 「グレートバリアリーフ」は「サンゴ礁」「(大) 堡礁」でも可
4. 自然環境の形成要因 (自然的条件)
海水温が高い, または
遠浅の海域である, または
海水の透明度が高い (各2点, 最大4点)
*1 「海水温」は「表面海水温」でも可
* 「寒いときでも 18℃以上である」など, 具体的に下限を述べても可
*2 「遠浅の」は「浅い」でも可

問2 12点

1. イの資源の名称
(イの資源は) 鉄鉱石である (1点)
[ボタニー港]
2. ボタニー港の主要な入港船舶の形態
(主要な入港船舶の形態は) コンテナ船である (1点)
3. ボタニー港の主要輸出品目
(主な輸出品目は) (軽) 工業製品である (2点)
* 「工業製品」は「軽工業製品」でも可
* 「製紙」「パルプ」など, 具体的に述べても可
4. ボタニー港でコンテナ船が多い理由
(ボタニー港周辺の) 臨海部が工業地域である (2点)
* 「臨海部」は「周辺部」でも可
* 「後背地に大都市がある」でも可
* 「大都市」は「シドニー」でも可

[ダーウィン港]

5. ダーウィン港の主要な入港船舶の形態
(主要な入港船舶の形態は) タンカーである, または
(主要な入港船舶の形態は) 家畜運搬船である (2点)

6. ダーウィン港の主要輸出品目 i (タンカー)
(主な輸出品目は) LNG である (2 点)
*5 で入港船舶の形態がタンカーでないとした解答は, この要素の得点を与えない
*「LNG」は「液化天然ガス」「天然ガス」でも可 (以下の加点要素でも同様)
7. ダーウィン港でタンカーが多い理由
沖合にガス田が分布する (2 点)
*5 で入港船舶の形態がタンカーでないとした解答は, この要素の得点を与えない
*「港まで (LNG) パイプラインが通っている」「周辺に LNG の備蓄基地がある」でも可
8. ダーウィン港の主要輸出品目 ii (家畜運搬船)
(主な輸出品目は) (生体) 牛である (2 点)
*5 で入港船舶の形態が家畜運搬船でないとした解答は, この要素の得点を与えない
9. ダーウィン港で家畜運搬船が多い理由
(近隣で) (牛の) 放牧が盛んである (2 点)
*「放牧」は「飼育」でも可 (以下の加点要素でも同様)
*5 で入港船舶の形態が家畜運搬船でないとした解答は, この要素の得点を与えない
- I. 4 が 2 の理由である, という関係でなければ, 1 点減点
II. 7 が 5 の理由である, という関係でなければ, 2 点減点
III. 9 が 5 の理由である, という関係でなければ, 2 点減点

問 3 16 点

1. ウの資源の名称
(ウの資源名は) ボーキサイトである (1 点)
[アルミニウム生産が盛んであった理由]
2. アルミニウム生産が盛んであった理由 i (水力発電)
(ニュージーランド南島では) 水力発電を利用できる (2 点)
3. アルミニウム生産が盛んであった理由 ii (電力の必要性)
(アルミニウム生産には) 多量の電力が必要である (2 点)
*「電力」は「電気」でも可
4. アルミニウム生産が盛んであった理由 iii (自然環境)
(ニュージーランド南島は) 降水量が多く, フィヨルドの落差を利用できる (3 点)
*「降水量が多い」「フィヨルドの落差を利用できる」のいずれかがない場合は 2 点
*「フィヨルドの落差」は「高低差の激しい地形」でも可
*「落差」は「高低差」でも可
[大規模精錬所の閉鎖による影響]
5. 大規模精錬所の閉鎖による影響 i (地域経済)
地域経済が衰退する (2 点)
*「地域 (全体) の斜陽化が進む」「地域の基幹産業が失われる」でも可
6. 大規模精錬所の閉鎖による影響 ii (雇用)
雇用が喪失する (2 点)
*「失業率が増加する」でも可
7. 大規模精錬所の閉鎖による影響 iii (発電所)

発電所の採算が悪化する (2点)

* 「採算」は「経営」「売上」でも可

8. 大規模精錬所の閉鎖による影響iv (環境)

地域の環境に悪影響がある (2点)

* 「浄化なしに再利用できない」「廃棄物処理が必要である」など、具体的に述べても可

9. 5~8の要素と類似せず、大規模精錬所の閉鎖による影響として適当なもの (各2点, 最大8点)

I. 5~9の加点の合計が8点を超える場合は8点

II. 2が(アルミニウム生産が盛んであった)理由である, という関係でなければ, 2点減点

III. 3が(アルミニウム生産が盛んであった)理由である, という関係でなければ, 2点減点

IV. 4が(アルミニウム生産が盛んであった)理由である, という関係でなければ, 2点減点

問4 12点

1. 輸出禁止措置の背景

(資源保有国では) 資源ナショナリズム (の考え方) が強まった (3点)

* 「強まった」は「高まった」などの表現でも可

* 「資源ナショナリズム」は「本国資源に対する主権を回復しようとする動き」など、具体的に説明しても可

2. 資源ナショナリズムの具体例 i (国内供給への対応)

国内需要への供給を優先する (2点)

* 「国内へ十分な供給ができていない」でも可

3. 資源ナショナリズムの具体例 ii (国内産業の育成)

国内産業の育成を促進する (2点)

* 「国内産業」は「関連産業」でも可

* 「加工業」「運搬業」など、具体的に述べても可

* 「国内企業に採掘権を与える」でも可

* 「国内企業」は「国営企業」「公営企業」でも可

4. 資源ナショナリズムの具体例 iii (国民所得の増加)

国民所得を高める (2点)

* 「国内の雇用を創出する」でも可

* 「国民所得」は「政府歳入」でも可

* 「高める」は「最大化する」などの表現でも可

5. 資源ナショナリズムの具体例 iv (乱開発の防止)

資源の乱開発を防ぐ (2点)

* 「資源の乱開発が進んでいる」「持続可能な(資源)開発をすすめる」でも可

6. 資源ナショナリズムの具体例 v (外資への対応)

外資(企業)による利益収奪を防ぐ (2点)

* 「外資による利益収奪が進んでいる」「外資の進出が著しい」でも可

* 「利益収奪」は「利益独占」でも可

* 「外資企業に課税を強化する」「資源産業の国有化をすすめる」でも可

7. 2~6の要素と類似せず、資源ナショナリズムの具体例として適当なもの (各2点, 最大9点)

I. 2~7の加点の合計が9点を超える場合は9点